イタルダ活動報告

山梨大学：「これからの高齢ドライバ対策を考える」シンポジウムで、ITARDA 研究員が講演を行います。

2026 年 10 月 21 日、山梨大学で開催される**「2026 年度シンポジウム　これからの高齢ドライバ対策を考える」**にて、ITARDA 研究員が**「長寿高齢社会のモビリティと交通安全の道筋」**と題して、「安全と自立した移動の両立の必要性」や「安全に運転をやめれらる仕組みの整備（事前の中止の備えや中止後の移動支援の必要性）などについて、講演を予定しております。

シンポジウム開催日時、場所、参加申込 URL

- 2026 年 10 月 21 日　13:00~17:30（開場/12:30）
- 山梨大学　甲府キャンパス（山梨県甲府市武田 4-3-11）
- https://saf-me-lab.yamanashi.ac.jp/

本シンポジウムは**公開イベント**としての開催が予定されています。
幅広く、関係者の皆様にご聴講いただければと思います。
※ その他、高齢運転に関連する講演も予定されております。次頁をご参照ください。

ITARDA では、高齢者が関与する交通事故の特徴や現状を踏まえ、高齢運転者の運転延伸を視野においた研究、その他、あらゆる角度から幅広く、交通事故の削減や被害の軽減に向けた研究を進めておりますので、引き続き、国民の皆様への成果の公表に努めて参ります。
併せまして、研究に活用される**交通事故例調査**も進めておりますので、皆様のご協力とご理解をお願いいたします。

自賠責運用益拠出事業
「高齢ドライバの実運転情報に基づく個別安全指導の自動化」プロジェクト

２０２６年度シンポジウム

これからの高齢ドライバ対策を考える

超高齢化社会を迎え、移動を支える高齢ドライバの安全確保は社会的な重要課題です。
本シンポジウムでは、実運転情報・医療・福祉・地域活動など多角的な視点から、
これからの高齢ドライバ対策のあり方を考えます。

参加無料
定員200名
（事前申込制）

日時

2026年10月21日(水)
13:00～17:30（開場12:30）

会場

山梨大学 甲府キャンパス
共創環境棟
山梨県甲府市武田4-3-11
JR甲府駅 徒歩13分

対象

行政・警察・医療・福祉関係者、
研究者、企業、一般の方 など

申込方法（締切10月14日）

下記のいずれかの方法でお申し込みください
●専用フォーム(右のQRコード)
●リンク
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSfUHP9O97t67coPnrugs-LJbLG-civ3iIJsYrN4RoaFIKrmHA/viewform?usp=publish-editor

※定員になり次第、締め切らせていただきます。
※プログラムは変更となる場合があります。

プログラム

12:30	開　場
13:00-13:10	開　会　　安達友弥 氏（日本損害保険協会）
	講　演　会
13:10-13:25	挨拶　　市川　満　（山梨大学　理事）
13:25–13:55	基調講演 伊藤安海（山梨大学 教授） 「高齢ドライバの実運転情報に基づく個別安全指導の自動化を目指して」
	— 休憩 —
14:10–14:40	招待講演 来栖宏二 氏 （アゼリーグループ　社会福祉法人江寿会　代表） 「『移動の自由』と『交通安全』の両立を目指して ― 施設利用者の移動実態と現場の課題―」
14:40–15:10	招待講演 小菅英恵 氏 （交通事故分析センター研究部研究第一課 主任研究員） 「長寿高齢社会のモビリティと交通安全の道筋」
	— 休憩 —
15:30–16:30	特別講演 寺田陽次郎 氏（Mr.ルマン　レースドライバー） 「高齢運転の再定義（レーシングドライバー６０年の経験から考える、安全とクルマ社会）」
	— 休憩 —
16:50–17:20	招待講演 國松志保 氏（西葛西井上眼科病院　副院長） 「視野障害と自動車運転 ～運転寿命の延伸のためにできること～」
17:20-17:30	閉　会　　伊藤安海（シンポジウム実行委員長）

主催　「これからの高齢ドライバ対策を考える」シンポジウム実行委員会
協賛　一般社団法人 日本損害保険協会
後援　山梨県、山梨県山梨県警察
一般社団法人 山梨県老人クラブ連合会、山梨大学

お問い合わせ
シンポジウム実行委員会事務局
E-mail：itolab-as@yamanashi.ac.jp
TEL:055-220-8418（火曜～木曜 9:00～17:00）
（山梨大学機械工学コース安全医工学研究室）